

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第38週の発生動向

### □今週のトピックス

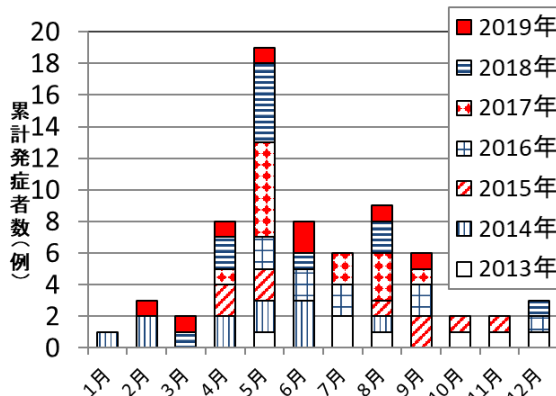
#### ・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内から1例あった。患者は70歳代の男性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は今年8例目で、累計69例(平成25年3月届出開始以降)となった。

#### 県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	18	23	16	5

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



### □ 全数報告の感染症 (38週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核5例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例、腸チフス1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：梅毒1例、百日咳16例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	結核性胸膜炎	全身倦怠感
		高鍋	50歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱、食欲不振
			90歳代	女	無症状病原体保有者	—
日向	60歳代	男	無症状病原体保有者	—		
3類	腸管出血性大腸菌感染症	高鍋	5~9歳	男	—	腹痛、水様性下痢、嘔吐、発熱 O-115(VT1)
	腸チフス	宮崎市	20歳代	女	—	高熱、比較的徐脈、脾腫、便秘、海外渡航歴有り
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、神経症状、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板・白血球減少等
5類	梅毒	日向	20歳代	男	早期顕症梅毒(I期)	初期硬結(性器)、硬性下疳(性器)、鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群				症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	40歳代	
5類	百日咳	宮崎市	2例		2			持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、嘔吐
		都城	3例		2		1	
		延岡	1例		1			
		日南	1例			1		
		日向	9例	1	7	1		

## □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は793人(定点当たり22.3)で、前週比80%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎であった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

#### 【インフルエンザ】

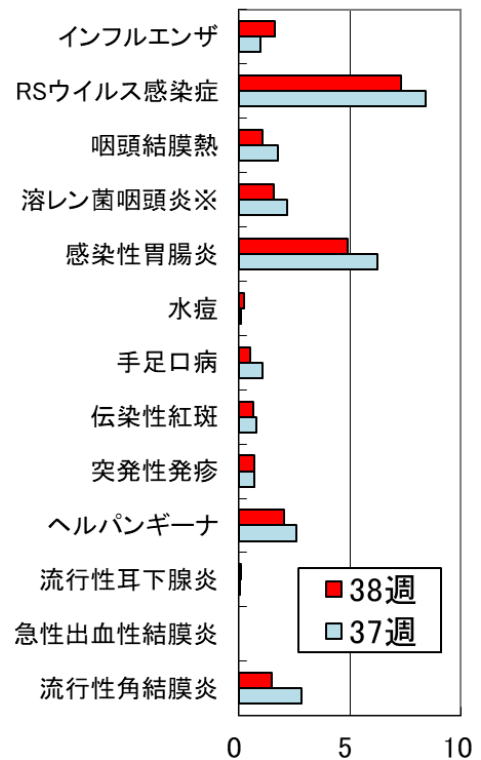
報告数は96人(1.6)で、前週比166%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(0.07)の約23.3倍である。小林(15.2)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約6割を占めた。

#### 【RSウイルス感染症】

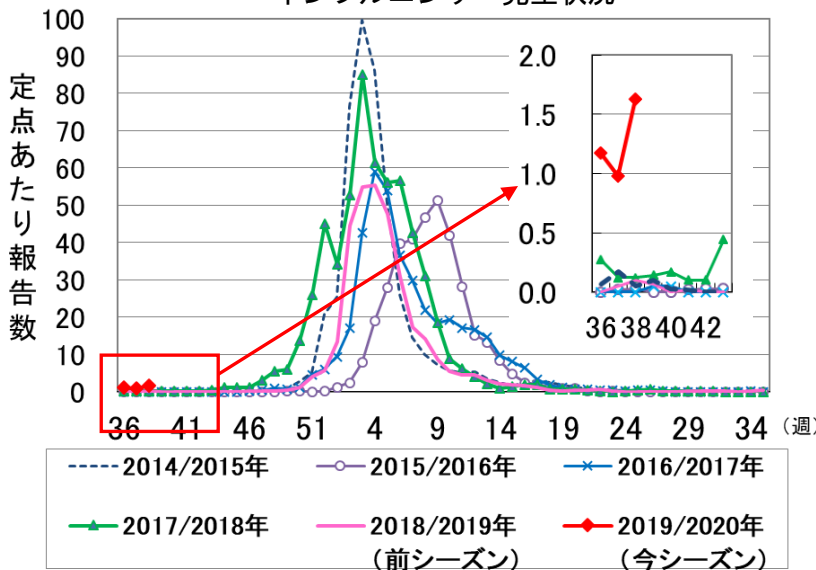
報告数は263人(7.3)で、前週比87%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値\*(3.7)の約2.0倍である。中央(21.0)、日向(11.0)、都城(8.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では2歳以下が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

## 《前週との比較》



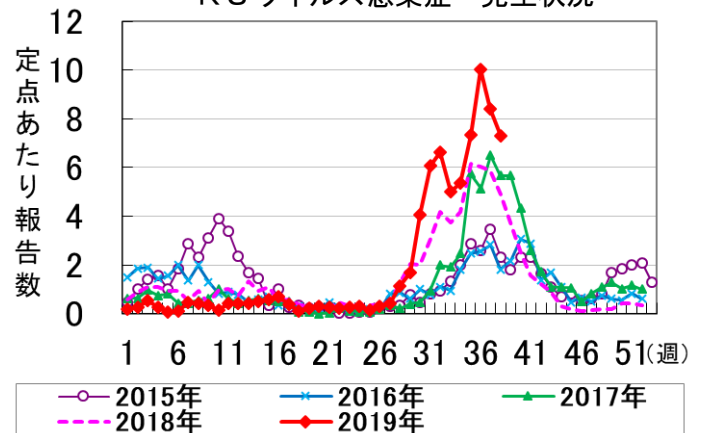
## インフルエンザ 発生状況



## 定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## RSウイルス感染症 発生状況



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

### ★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	伝染性紅斑(2.5)
日南	なし
小林	インフルエンザ(15.2)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(3.0)

#### \* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

#### \* 流行注意報レベル基準値 \*

- ・インフルエンザ(10.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和元年9月23日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Bareilly(O7:y:1,5)	80歳代	男	2019.08.19	腎機能障害、尿路生殖器障害(膀胱炎)	便	2019.08.29
<i>Salmonella</i> Enteritidis(O9:g,m:-)	5~9歳	女	2019.08.27	発熱(38.6℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2019.09.04
EAggEC(O111:H21)	0~4歳	男	2019.08.25	血便	便	2019.09.10
<i>Salmonella</i> Cerro(O18:z4,z23:-)	30歳代	女	2019.08.26	無症状	便	2019.09.06
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4歳	男	2019.09.04	百日咳、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2019.09.06
EPEC(O26:H11)	60歳代	女	2019.09.05	無症状	便	2019.09.18

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
コクサッキーウイルスA6型	0~4歳	男	2019.07.31	エコーウイルス疑い、39.0℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2019.09.12
コクサッキーウイルスA6型	0~4歳	女	2019.08.03	手足口病疑い、39.8℃、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2019.09.12
ヒトヘルペスウイルス6	0~4歳	男	2019.08.08	けいれん重積、脳症、40.3℃ 意識障害、脳炎、肝機能障害	血清	2019.09.20
インフルエンザウイルスAH1pdm09	40歳代	女	2019.08.26	インフルエンザA、39.0℃、関節痛 筋肉痛、頭痛、上気道炎(咽頭痛) 下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2019.09.19
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5~9歳	男	2019.09.02	インフルエンザA型、39.8℃、 頭痛、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2019.09.19
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	男	2019.09.11	インフルエンザA	鼻汁	2019.09.19
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	男	2019.09.16	インフルエンザA型、40.0℃ 気管支炎、吐気、嘔吐	咽頭ぬぐい液	2019.09.19

○インフルエンザと診断された4名からインフルエンザAH1pdm09が検出された。なおインフルエンザのサーベイランスにおける2019/2020シーズン(今シーズン)の対象は、検体採取年月日が2019年9月1日以降のものとされているため、統計上、今回の4件中3件が今シーズン初めての検出となる。インフルエンザは昨年と比較して14週早い流行となっている。

🇯🇵 全国2019年第37週の発生動向

□全数報告の感染症(全国第37週)

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	307例			
3類感染症	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	114例	
4類感染症	E型肝炎	7例	A型肝炎	6例	オウム病 1例
	チクングニア熱	2例	つつが虫病	1例	デング熱 6例
	日本紅斑熱	4例	マラリア	1例	ライム病 1例
	レジオネラ症	68例	レプトスピラ症	2例	
5類感染症	アメーバ赤痢	16例	ウイルス性肝炎	6例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 35例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	9例	クリプトスポリジウム症 1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	12例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	16例	水痘(入院例) 4例
	梅毒	82例	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風 2例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2例	百日咳	264例	風しん 10例
	麻しん	2例			

□定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比101%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病と伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は5,738人(1.2)で前週比152%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.10)の約11.7倍である。沖縄県(50.8)、長崎県(2.6)、佐賀県、大分県(各1.6)からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約半数を占めている。

RSウイルス感染症の報告数は10,846人(3.5)で前週比111%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(1.7)の約2.1倍である。佐賀県(8.7)、宮崎県(8.4)、愛媛県(7.2)からの報告が多く、年齢群別では2歳以下が全体の約8割を占めている。

\* 過去5年間の当該週、前週後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第38週(09月16日～09月22日)

疾病名		第37週	第38週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	58	96	4	8	7		76			1	
	定点当り	0.98	1.63	0.25	0.80	1.00	0.00	15.20	0.00	0.00	0.17	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	303	263	64	48	24	23	10	29		44	21
	定点当り	8.42	7.31	6.40	8.00	6.00	7.67	3.33	7.25	0.00	11.00	21.00
咽頭結膜熱	報告数	63	39	23	5		8					3
	定点当り	1.75	1.08	2.30	0.83	0.00	2.67	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	79	56	10	12	13	8		3		3	7
	定点当り	2.19	1.56	1.00	2.00	3.25	2.67	0.00	0.75	0.00	0.75	7.00
感染性胃腸炎	報告数	225	176	25	51	5	19	27	18	2	24	5
	定点当り	6.25	4.89	2.50	8.50	1.25	6.33	9.00	4.50	2.00	6.00	5.00
水痘	報告数	4	9	3	4						2	
	定点当り	0.11	0.25	0.30	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	38	19	8	5	1	2				2	1
	定点当り	1.06	0.53	0.80	0.83	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.50	1.00
伝染性紅斑	報告数	28	24	8	1	10	2				3	
	定点当り	0.78	0.67	0.80	0.17	2.50	0.67	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
突発性発しん	報告数	26	25	7	3	5	2	1	2	1	3	1
	定点当り	0.72	0.69	0.70	0.50	1.25	0.67	0.33	0.50	1.00	0.75	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	94	74	29	7	16	12	2	2		5	1
	定点当り	2.61	2.06	2.90	1.17	4.00	4.00	0.67	0.50	0.00	1.25	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	3			1			1			1
	定点当り	0.03	0.08	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	9	7	2							
	定点当り	2.83	1.50	2.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～38週)

2類感染症	結核	158例(5)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	35例(1)	腸チフス	1例(1)
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	7例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	3例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	16例(1)
	破傷風	1例	百日咳	232例(16)
	麻しん	1例		
			重症熱性血小板減少症候群	8例(1)
			デング熱	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12例
			クリプトスポリジウム症	1例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			播種性クリプトコックス症	1例
			風しん	1例

( )内は今週届出分、再掲